

日本経済新聞朝刊に広告を掲載しました



当社は、グループのさらなる発展を目指し、2021年8月3日発行の「日本経済新聞 朝刊」に広告を掲載しましたのでお知らせいたします。

なお、本広告は7月26日に続く2週連続のシリーズ広告となります。

このアスファルトは、
“森林の国”の発明だ。

間伐材や倒木をアスファルト舗装に
利用。リサイクルの促進とCO₂の削減で、
人と自然にやさしい道を創り続ける
ニチレキです。

日本の国土の約70%を占める森林は、人の社会経済活動によって排出される二酸化炭素(CO₂)を吸収してくれる貴重な存在です。こうした地球の環境を支える森林にもっと関わることはできないか、ニチレキはそう考えました。そんな思いから生まれたのが「アスワッド工法」です。この工法では、間伐材や倒木をチップ化してアスファルト乳剤と混ぜ合わせ、舗装材としてリサイクル。これまで焼却処分されていた木くずを再利用できるので、CO₂の削減につながります。さらに、アスワッド工法による舗装は透水性と排水性に優れているため、足にやさしく、水たまりができにくいという特長があります。また、周囲の自然に溶け込む風合いが多く人の心を癒し、すでに各地の遊歩道などに採用されています。ふるさとの森の木は、ふるさとの道につながる。お年寄りから子供たちまでみんなが楽しくやさしい道。人と自然との共生をひろげていくために、ニチレキはこれからも持続可能な社会につながる道を創り続けます。

三河川沿道
北海道立中央公園

〒102-8222 東京都千代田区入船4-3-29 <https://www.nichireki.co.jp/>

未知に探み、「道」を創る。
NICHIREKI 東証一部

なくってはならないインフラだからこそ、
しなくってはならない環境対策がある。

このアスファルトは、
“長寿の国”の発明だ。

のしかかる重圧やストレスを、
しなやかに受け止める。
アスファルト舗装長寿の秘訣は、
そこにありました。

たくさんのトラックやクルマが行き交う道路には、日々大きな負荷がかかります。舗装にひび割れや亀裂が入ると修復工事しなければなりません。しかし、頻りに工事が行われるとCO₂排出量の増加につながり、省資源化にも進行します。そこで、傷みにくく寿命が長い舗装を実現するアスファルトの開発に挑戦。常備にとられない新たな発想でゼロから材料を探し、ニチレキの技術を結集しました。そしてたどりついたのが、<シナヤカアスファルト>です。この製品は”しなる”ことで道路にかかる負荷を和らげ、傷みにくい道路を創ります。これにより、従来品の約2倍もの舗装長寿命化に成功しました。人にとっての舗装長寿の秘訣は、ストレスをできるだけ寛ゆるない生活が送れることです。舗装にとっての長寿の秘訣も、ストレスをできるだけしなやかに受け止めることにありました。限りある資源を守り、工事による人やモノの移動の制限も減らす。地球にも人にもやさしい道路を。ニチレキは、これからも持続可能な社会につながる道を創り続けます。



なくてはならないインフラだからこそ、
しなくてはならない環境対策がある。